記者発表資料

平成２８年２月８日
新庄河川事務所

流域市町村長との「砂防懇談会」を開催

～土砂災害から命を守る行動を広げるために～

新庄河川事務所では、近年各地で頻発している土砂災害から、より一層住民の方々の安全が図られるよう流域市町村長と懇談を行います。

近年の豪雨や台風など異常気象が常態化していることから、土砂災害が各地で頻発しております。

当事務所管内においても、平成２３年５月庄内町の濁沢池ノ台地区での深層崩壊、平成２４年４月大蔵村肘折地区地すべり、また、流域内では昨年４月戸沢村古口地区での地すべり発生等、いずれも融雪に伴う土砂災害が発生しています。

このような土砂災害から、より一層住民の方々の安全が図られるよう、ハード・ソフト対策を両輪で実施していく必要があります。

このため、関係する市町村長との更なる連携強化・情報共有を目的に、下記のとおり懇談を行います。

■開催概要

日　時　：　平成２８年２月１５日（月）１６：００～１７：１５
場　所　：　新庄河川事務所　大会議室（２階）
出席者　：　流域市町村（別紙参照）
内　容　：　〇市町村長との砂防懇談会
　　〇特別講演　「土砂災害と砂防」
　　講師　大野　宏之（ひろゆき）氏（前国土交通省砂防部長）

［発表記者会：新庄新聞放送記者会］

〈問い合わせ先〉
国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所
電話　０２３３－２２－０２６７
副所長（砂防担当）　佐藤（さとう）　勝美（かつみ）　（内線２０５）
事業対策官　天野（あまの）　厚毅（こうき）　（内線２０８）

（別紙）

新庄河川事務所砂防懇談会出席者名簿

講　師

大　野　　宏　之	前国土交通省砂防部長

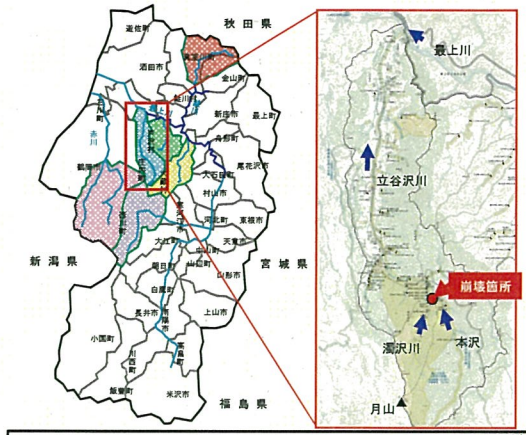
市町村

榎　本　政　規	鶴岡市長
伊　藤　元　昭	新庄市副市長
小　川　一　博	西川町長
鈴　木　　洋	金山町長
高　橋　重　美	最上町長
奥　山　知　雄	舟形町長
井　上　　薫	真室川町長
加　藤　正　美	大蔵村長
元　木　洋　介	鮭川村長
渡　辺　秀　勝	戸沢村長
原　田　眞　樹	庄内町長

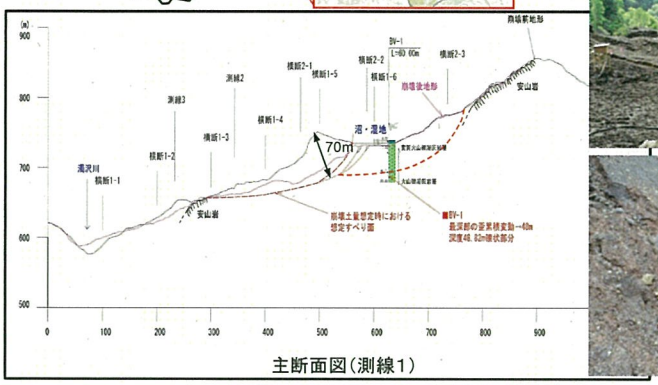
（敬称略、順不同）

新庄河川事務所の土砂災害発生状況〈参考資料〉

新庄河川事務所による緊急対応　～平成23年 濁沢池ノ台地区深層崩壊～







主断面図（測線1）

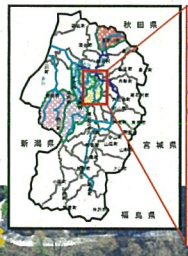







国交省職員による現地調査

新庄河川事務所による緊急対応　～平成24年大蔵村肘折地区地すべり災害～








国交省職員による現地調査





〈参考資料〉

平成27年　全国の土砂災害発生状況

国土交通省

平成27年12月31日現在
土砂災害発生件数
788件
（土石流等：145件
地すべり：44件
がけ崩れ：599件）

【被害状況】
人的被害：死者 2名
負傷者 14名
人家被害：全壊 17戸
半壊 14戸
一部損壊 86戸



栃木県日光市芹沢（にっこう　せりさわ）



栃木県鹿沼市日吉町（かぬまし　ひよしちょう）





鹿児島県熊毛郡屋久島町口永良部島（くまげぐん　やくしまちょう　くちのえらぶじま）



山形県最上郡戸沢村（もがみぐん　とざわむら）



福島県南会津郡南会津町（みなみあいづぐんみなみあいづまち）



鹿児島県垂水市二川深港（たるみず　ふたがわふかみなと）